

事業所名		ももの家（児童発達支援）			支援プログラム		作成日	7年	3月	15日
法人（事業所）理念		発達に遅れや偏りのあるお子さんを対象として、子どもたちが家族や地域との繋がりの中で「誰もが輝ける未来がここにある」できるを伸ばすことを目指します。								
支援方針		お家の方の声にしっかりと耳を傾け、お子さんの発達状況や課題に合わせた支援を提供します。ご家庭、幼稚園、保育園、こども園、小学校、地域と密接に連携しながら、一人ひとりにしっかりと寄り添い「できる」を伸ばしていきます。 (1) 集中力や感性を養う (2) 社会性を育む (3) 体力や体幹を鍛える (4) やりとりや言葉を楽しむ								
営業時間		月～金	9時	分から	17時	分まで	送迎実施の有無	送迎あり		
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	支援員や友だちと共に安心して過ごせる環境を整えます。（健康状態の把握、状況に応じて個別対応やパーテーションの使用、クールダウンできる環境作り）定期的に通うことができるように興味や関心に合わせた教材や活動を用意し、個々の生活リズムを整える支援・来所時のルーティンの定着を図り、絵や文字のスケジュール表を使用することで、スムーズに一日の流れのスタートができるようにします。基本的な生活スキルの習得を図ります。衣服の着脱等（ボタンのはめ外し、ファスナーの開閉・衣服を畳む）靴の左右が分かり揃える。手洗いの習慣（入室時、排泄後、おやつ前など）。トイレトレーニング。道具の操作（スプーン、箸、ハサミ、鉛筆など）。身の回りの清潔や身だしなみへの気づき（シャツをズボンに入れる、ハンカチを畳む、鼻をかむなど）。活動や製作を通して季節の変化を知り、季節に合わせた過ごし方や心地よさを感じられるような取り組みを行います。								
	運動・感覚	姿勢の保持や体幹を安定させバランスをとりながら動くことや身体の複数の部分を意識して動かすなど、運動や基本的技能の向上を目指します。また空間認知力を養います。 ■粗大運動として、全身を動かす、体幹を鍛える、平衡感覚（バランス能力）、歩く、走る、ジャンプ、なわとび、協調運動（ボールキャッチ、玉入れ、ボーリング：体の使い方や力加減の仕方）、感覚運動（見る、聞く、触る）などの動作スキルの獲得やボディイメージの形成を図ります。■微細運動として、ひも通し、クリップはめ、チェーンつなぎ、型はめ、積み木、ボタンはめ、ひも結び、折る、ちぎる、切る、貼る、ぬる、書く等、手や指を使う日常的な動作に必要な動作スキルの獲得に取り組みます。								
	認知・行動	パズルやマッチング課題等、具体的な物や絵カードを使った課題を通して、物の機能、属性、形、色、大きさや重さ等の物の様子について、言葉と結びつけながら、抽象的な概念を学ぶ機会を作ります。数量や数字の順番など数に関することを段階的に学べるようにします。平面や立体の様々な教材を使い、学習したことが日常生活に広がりやすいように工夫します。スケジュール表を使用し、一日の流れや活動内容を掲示し、見通しをもって過ごすことができるよう視覚的な働きかけを行います。場面転換時には「おしまい」の言葉かけや「長い針が〇になったら片付け」、タイムタイマーなどを取り入れ、スムーズに切り替えが出来るように支援します。『静』場面、反対に『動』の時間を設定しメリハリをもって過ごせるようにプログラムを組みます。 ■概念形成：物の名前や生活の中で必要な言葉の習得・物や体験と言葉の意味を結びつけるなど ■コミュニケーション：他者とのやり取りや要求、SOSの発信・言葉や文字で相手の意図を理解する・自分の考えや思いを伝える・適切な言葉や態度 など。 ■聞く力：絵本の読み聞かせ・相手の話を聞く、理解する・相手の気持ちや感情を理解する、読み取るなど ■発表：自分の考えや気持ちの表出など ■読み書き：運筆練習・文字探しやマッチング・平仮名をなぞる、書く・単語をよむなど								
	言語コミュニケーション	個々のお子さんの特性やニーズ、発達段階に応じた意思のやりとりが行えるように表情や身振り、カードや言葉などコミュニケーションに必要な基礎的な能力を身に付けることができるように支援を行います。「聞く」「話す」というコミュニケーションの基盤を作ります。自分の発言が相手に受け止められる、相手の言うことに応じて発言したり行動したりすると相手が肯定的な対応をしてくれるという経験を通じて、コミュニケーションの楽しさを感じられるように支援します。言葉を聞いて行動することや見たものや経験したことを言葉で表現することを学ぶ機会を作り、日常生活で使える言葉の種類を増やします。楽しみながら文字に親しむ機会を積み重ねていくようにします。 ■言語：物の名前や生活の中で必要な言葉の習得・物や体験と言葉の意味を結びつけるなど ■コミュニケーション：他者とのやり取りや要求、SOSの発信・言葉や文字で相手の意図を理解する・自分の考えや思いを伝える・適切な言葉や態度 など。 ■聞く力：絵本の読み聞かせ・相手の話を聞く、理解する・相手の気持ちや感情を理解する、読み取るなど ■発表：自分の考えや気持ちの表出など ■読み書き：運筆練習・文字探しやマッチング・平仮名をなぞる、書く・単語をよむなど								
人間関係社会性	個別や小集団での活動を通して、順番やルールを守る大切さを知り、場面や状況に応じた適切な振る舞いができるようになるなど、社会の中で必要なスキルの習得を目指します。支援員や友だちと一緒に遊ぶ楽しさを経験し、遊びの幅が広がり、達成感や喜びを共有すること、また自己肯定感を高める支援をします。ゲームで負けた時、失敗した時、思い通りいかない時に、気持ちを落ち着かせる方法（場所や時間）や気持ちに折り合いをつける方法（交渉や調整）を支援員と一緒に考えたり、自分の言動がどうだったのか、など振り返りを行います。必要に応じてソーシャルスキルトレーニングを実施します。 ■集団への参加：周りに興味を持つ・みんなに合わせる・協力するなど ■ルールを理解する、守る ■気持ちのコントロール・気持ちに折り合いをつける・我慢、諦め・SOSの発信									
家族支援	・送迎時や連絡帳、LINEを使用しお子さんの様子や取り組み内容を共有します。 ・困り事があった時は、管理者や職員にいつでも相談できる環境を整えます。 ・保護者の就労状況に応じて保育園や幼稚園に送迎します。 ・保護者交流会を実施します。（年2回）			移行支援		・必要に応じて、保育園、幼稚園でのお子さんの様子を見学したり、園の先生とお子さんの様子や支援方針について情報共有したりします。 ・就学予定の小学校に情報提供書を作成します。				
地域支援・地域連携	・各関係機関（平行通園先、相談支援事業所、他事業所）と情報交換、共有を行います。			職員の質の向上		・職員の外部研修への参加、年に3回以上の内部研修を実施し、特性への理解を深めたり、新しい支援方法を学んだりします。 ・ミーティングで、現在の支援方針について検討、お子さんや支援方法に関する情報を共有します。				
主な行事等	・避難訓練（2回）・施設外活動（散歩）・夏まつり・お散歩遠足・クリスマス会									